

1 身を守る

- 机の下などに入って体を守る
- 火の始末
- 窓や戸を開け出口の確保



2 あわてず

- 家族の安全を確保
- 非常用持出品の確認
- テレビ、ラジオから情報を集める
- 火災が発生したら
協力して初期消火
火災が延焼拡大したら安全な場所（広域避難場所など）へ避難



4 安全確保

- 津波警報等が発表された場合は、海から離れ、津波一時退避場所、高台など、可能な限り安全な場所へ避難

※津波一時退避場所とは、右標識のある公共施設や市と協定を締結したマンションなど



茅ヶ崎市 津波一時退避場所 [検索](#)

津波警報等が発表されている間は、避難を続けましょう

5 避難生活

- 避難所は、自宅が被災した場合に災害の危険がなくなってから一時的に避難生活を送る場所です。
- 自宅が被災し、避難所生活になったら
避難所のルールを守ろう
避難行動要支援者に心づかい
- 自宅での避難生活が可能の場合は、在宅避難を！
- 7日分以上を目標に食料などを備蓄しよう

3 避難を開始

- ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを切る
- 非常用持出品を持って徒歩で避難
- 近所にも声をかけて安否確認、避難支援
- 津波や土砂災害の危険が予測される地域はただちに安全な場所へ！

〔避難所生活判断2ステップ〕

不安に感じたり危険と判断したら避難所などへ

判断① 危険を見極める

判断ポイント

- 自宅の家屋に被害があるか？
倒壊のおそれがあるか？
- 隣家の倒壊などで自宅に影響はあるか？
火災・津波・液状化などの二次被害の心配はあるか？

危険なければ判断②へ

判断② 生活できるか確認

自宅での生活ができなければ避難所などへ

判断ポイント

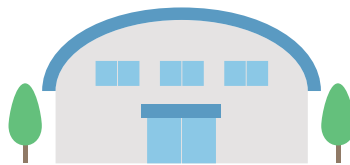
- 他人のサポートがなければ暮らしていけないか？

生活ができれば自宅にとどまる

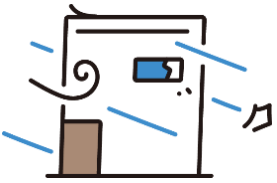
避難所など



在宅避難



風水害



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。

市の**避難指示等の発令に留意**するとともに、**避難指示等が発令されていなくとも自ら避難の判断**をしてください。

防災気象情報（気象庁等が発表） ※令和8年5月下旬から運用開始予定

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別 警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険 警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難 、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

市が発令する避難情報

警戒レベル (目安)	避難情報（市が発令）	住民に求める行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ ・既に災害が発生又は切迫している状況 ・命を守るための最善の行動をとる ・災害が発生した場合に、必ず発令されるものではないことに留意
4	避難指示	危険な場所から 全員避難 ・予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに避難する ・指定緊急避難場所への避難に危険を伴う場合は、「近隣の安全な場所」や安全確保ができる上階への避難・高層階に留まる「屋内安全確保」を行う
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難 ・避難に時間のかかる高齢者等とその支援者は避難する ・その他の人は、避難の準備を整え、防災気象情報等に注意を払い、危険な場所から自発的に避難を開始することが望ましい